



東広会ニュース

12月号

2007年(平成19年)

Vol.42

発行所 東京都渋谷区恵比寿南1-5-5
JR恵比寿ビル14F

東日本鉄道東京広告会

電話 03(5447)7928

E-MAIL info@tokokai.jp



説明会には、各広告会社から昨年を上回る出席者が来場し会場を埋め尽くした

2008年度商品計画・販売施策発表される

2008年度商品計画・販売施策の概要を発表する広告会社説明会が11月29日(木)池坊お茶の水学院で開催された。説明会には各広告会社から合計279名が出席した。発表された内容は、近年進めている施策の深度化を図りさらなる成長基盤の確立を強化するものとなっている(関連2・3ページ)。

説明会では、冒頭に栗本常務取締役交通媒体局長が近年進めている施策の深度化等方向性について語り、その後、各メディア部長が商品計画・販売施策内容を説明した。

車両メディア、駅ポスター・SPメディア、サインボードの各メディアで新機軸の商品計画が打ち出されている。

車両メディアについては、新商品の設定・販売として、①「女性専用車両中ぶりジャック」の設定―これは女性専用車両が各路線に設定されてきたことから、女性をターゲットとした商品として新たに設定。②「車体広告山手・大阪環状線セット」の設定―(株)ジェイアール西日本コミュニケーションズと連携し、山手線と大阪環状線の車体広告をセットにした商品を新たに設定。

「トレインチャンネル」に関しては、中央線への導入完了、京浜東北線への本格導入を踏まえ、山手・中央・京浜東北線のセット販売や、スポット枠数の増加及び新商品の設定等、商品体系が整備される。

各種商品の見直しでは、「戸袋ステッカー」掲出路線の拡大、「ドア横新B」広告料金及び料金区分の見直し、「ドア上」広告料金見直し、「京浜東北線ADトレイン」広告料

金の見直し、「東海道/宇都宮・高崎線211系/常磐線E531系ドア上」の設定、「つくばエクスプレスまど上S額面」のゆりかもめまど上」の設定が行われる。

駅ポスターについては、新宿駅に新たな駅ポスターセット「新宿アルプスセット」が設定される。需要動向等に対応し、「新宿南口セット」の拡充、「ロングサイズ(金)」の、商品力を強化、「首都圏A」掲出駅変更が実施される。また、「特別企画商品『Suipop』」、「特別企画商品『首都圏スポット』」等の設定も行われる。

SPメディアについては、新商品の設定・販売として、秋葉原駅「中央改札内壁面ツインシート広告」、恵比寿駅「東口改札内フラッグ広告」、品川駅「アドピラー(集中貼りオプション)」の他、品川駅・上野駅で大型フラッグ広告が開発される予定。

サインボードについては、JR20周年施策の一環として「ベンチ広告」「駅周辺案内図広告」のリニューアルが行われる。さらに新セットボードの設定の他、返還・再販媒体のスケジュール等の見直し、「まとめ販売」割引の設定、計画開発等の取り組みが行われる。

2008年度商品計画・販売施策概要

車両メディア

車両メディアでは以下のような商品計画・販売施策が発表されました。

- 1 新商品の設定・販売
- 1 「女性専用車両 中づりジャック」の設定

「女性専用車両」が各線区に設定され、交通広告には少なかったターゲットをセグメントする掲出が可能になりました。設定予定線区は中央線快速・青梅線・五日市線、総武線各駅停車、埼京線・川越線、りんかい線、常磐線各駅停車、つくばエクスプレスとなっています。

- (2) 「車体広告 山手・大阪環状線セット (大阪セット)」の設定

クライアント需要が高まってきている東京の山手線と大阪の環状線車体広告をセットにした商品を、(株)ジェイアール西日本コミュニケーションズと提携し設定されます。東京・大阪の2大商圏・主要路線で、ダイナミックなデザインを訴求する車体広告の展開が可能となります。

- 2 「トレインチャンネル」の商品改定

京浜東北線にトレインチャンネル(17インチ、ワイド画面)を設置した新型車両が順次導入されます。これ

によりトレインチャンネルが山手線・中央線快速・京浜東北線の主要3路線に拡大されます。商品力拡充及び需要等を踏まえ、商品の改定が行われる。主な改定内容としては

- ・山手線・中央線快速・京浜東北線のセット販売を開始。
- ・コンテンツ活性化を目的としたタイムCM枠のスポット化を実施。これにともない長期枠の新商品を設定。
- ・スポット枠の放映秒数を変更(20秒→15秒)して枠数を増加するとともに、一般申込み枠を設定。

- 3 各種商品の見直し

- (1) 「戸袋ステッカー」掲出路線の拡大
- (2) 「ドア横新B」広告料金・料金区分の見直し
- (3) 「首都圏全線ドア上(ペーパーラジオ)」広告料金の見直し
- (4) 「京浜東北線新型車両(E233系)ADトレイン」の設定
- (5) 「東海道線211系/宇都宮・高崎線211系/常磐線E531系ドア上(ペーパーラジオ)」の設定
- (6) 「つくばエクスプレス まど上S額面」の設定
- (7) 「ゆりかもめ まど上」の設定
- 4 「長期事前申込み」等について

各ユニットの申込み上限について、

新規に「トレインチャンネル(スポットCM)」に上限が設けられます。※具体的な内容に関しては交通媒体システムのメディアガイダンスか車

JR京浜東北線・根岸線に「トレインチャンネル」が新たに登場!

12月22日(土)より順次導入される京浜東北線・根岸線新型車両(E233系)の運行開始に伴い、山手線・中央線に引き続き車内映像メディア「トレインチャンネル」の放映が開始されます。

山手線・中央線「トレインチャンネル」と同様、ニュースなどの生活情報や動画広告に加え、京浜東北線オリジナルの天気予報を放映予定です。新たに17インチワイド

京浜東北線「トレインチャンネル」イメージ図

(16.9)モニターを採用し、また中央線から採用している車内伝送回路のデジタル化と合わせて、より鮮明でリアルな迫力のある映像表現が可能となります。



京浜東北線・根岸線 新型車両E233系

両メディア部、スペース調整部へお問い合わせください。

「トレインチャンネル」の変遷

2002年4月 山手線に新型車両(E231系)登場、トレインチャンネルの放映を開始
 2005年4月 山手線全編成が新型車両に置き換え完了
 2005年10月 山手線トレインチャンネルのシステムをバージョンアップ、放映内容を大幅改良
 2006年12月 中央線快速に新型車両(E233系)登場、トレインチャンネルの放映を開始
 2007年12月 京浜東北線・根岸線に新型車両(E233系)登場、トレインチャンネルの放映を開始

駅メディア

○駅ポスター

駅ポスターでは、新商品「新宿アルプスセット」の設定・販売他、一部駅ポスターセットの見直し等が発表されました。

1 新商品「新宿アルプスセット」の設定・販売

広告ニーズの高い新宿駅アルプス広場に、B0サイズが12箇所掲出できるセットが設定されます。

2 駅ポスターセットの見直し

(1)「新宿南口セット」掲出箇所の拡充
ホーム改修工事完了に伴い、階段壁面にB0ポスター枠を3枠増設計B0・19枚掲出し、掲出箇所を拡充されます。

(2)「ロングサイズ(金曜日枠)」掲出駅の変更

ロングサイズ金曜日枠の掲出駅13駅の内、蒲田駅を横浜駅(新設)に変更し、商品力を高めます。

(3)「首都圏A」掲出駅の変更

首都圏Aの掲出駅21駅の内、立川駅を吉祥寺駅に変更されます。

3 「特別企画商品」の設定

(1) 特別企画商品「Suipō」の新規設定

SuipōセレクトパノラマA・B及びSuipōパノラマ新宿A・Bを特別企画商品として販売します。ゴー

ルデンウィーク、夏季(お盆)、年末年始の3シーズン限定で各3商品が設定されます。

(2) 特別企画商品「A・B01・B02・C」の見直し

1 期料金で2期掲出できる商品や、山手線ターミナル駅を中心に掲出できる商品など、さまざまな広告ニーズに対応できる商品が販売されます。ゴールデンウィーク、夏季(お盆)、年末年始の3シーズン限定で各4商品が設定されます。

(3) 特別企画商品「首都圏スポット97・99」の新規設定

JR業務用ポスター枠を活用し、山手線ターミナル駅をはじめ、横浜・大宮・八王子・千葉エリアの広域にわたり、B1ポスターを約100駅170枚掲出できる商品が販売されます。春季(5月)、夏季(8月)、秋季(11月)の3シーズン限定で各2商品が設定されます。

4 駅ランクの見直し

各駅の乗降人員、需要動向等を鑑み、JR外房線 鎌取駅、ゆりかもめ台場駅・国際展示場正門駅の駅ランクを見直します。

○SPメディア

SPメディアでは、新商品の設定・販売、品川・秋葉原駅の駅ランク見直し、月をまたがる掲出時の広告

料金の見直し等が発表された。

1 新商品の設定・販売

(1) 秋葉原駅「中央改札内壁面ツインシート広告」

秋葉原駅の中央改札口横の壁面に、左右幅7mを超える大型のシート広告を2枚同時に掲出できます。

(2) 恵比寿駅「東口改札内フラッグ広告」

恵比寿駅の東口改札内コンコースに、B0サイズで8枚(意匠面16面)を掲出するフラッグ広告が販売されます。西口改札外のフラッグ広告や集中貼りとの同時展開により、恵比寿駅をジャックすることも可能です。

(3) 品川駅「中央改札内アドピラー」

(集中貼りのオブション販売)
品川駅の中央改札内6本の柱に掲出するアドピラーが販売されます。集中貼りとの同時展開により相乗効果を図ることが可能です。

2 新商品の設定・販売(予定)

(1) 品川駅「中央改札内大型フラッグ広告」

品川駅の中央改札内に、縦3.5m×横4.8m(両面)で2箇所的大型フラッグ広告の販売が予定されています。

(2) 上野駅「中央改札外大型フラッグ広告」

上野駅の中央改札外に、縦4.5m×横5.0m(両面)の大型フラッグ広告の販売が予定されています。

3 SPメディア駅ランクの見直し

(1) 品川駅、秋葉原駅

乗降人員の増加、駅的环境、需要動向等を鑑み、駅ランクの見直しが行われます。具体的には、品川駅(3等級→2等級)、秋葉原駅(4等級→3等級)となります。

4 月をまたがる掲出時の広告料金の見直し

一般申込みで未販売月をまたがる複数期の掲出の場合に、これまでは各月での掲出期数の広告料金を適用していましたが、2008年度からは全掲出期数の広告料金を適用します。

※具体的な内容に関しては交通媒体システムのメディアガイダンスか駅ポスター・SP部へお問い合わせください。

○サインボード

サインボードでは、JR東日本の、会社設立20周年記念事業として、駅における「ベンチ」「駅周辺案内図」の整備が実施されます。その整備として、「一般ベンチ広告」及び「駅周辺案内図広告」をリニューアルし、新しい媒体とする予定です。また、山手線を中心とした3m×4m大型ボード約20面を新設し、新しいセットボード商品として設定が予定されています。いずれも、商品概要、販売方法については、決まり次第、別途ご案内いたします。

2007年度第3回理事会開催される

東日本鉄道東京広告会は、第3回の理事会を2007年12月13日(木)16時30分からJ企の会議室で開催した。主な議題

- 1 平成19年度上期収支実績・下期見込み
 - 2 新年賀詞交歓会の開催について
 - 3 役員の改選期の選任方法について
 - 4 第8回ゴルフ大会の開催について
 - 5 その他
- 報告事項として



第3回理事会 (2007年12月13日)

- (1) 入会・退会等について
- (2) 国内広告研修の実施結果について
- (3) 海外広告研修の実施結果について
- (4) 第7回ゴルフ大会の実施結果について
- (5) 今後の主な行事・会議について
- (6) 2008年度商品計画・販売施策について
- (7) その他

女性をターゲットにした交通広告を展開!

中央線快速・総武線各駅停車・埼京線の3路線の「女性専用車」で、女性をターゲットにした交通広告が展開されました。広告主はプロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン(株)。

中央線快速では、トレインチャンネル



トレインチャンネル



中づり貸切り(特殊広告:スイングポップ・透明素材)



中づり貸切り(特殊広告:スイングポップ・透明素材)

「女性専用車 ロングスロット」を、総武線各駅停車と埼京線では、「女性専用車 中づり貸切り」を12月3日(月)～12月16日(日)まで展開した。中づりは特殊広告を掲出し、スイングポップを装着した広告や透明の素材を使用した広告を展開した。

- ① 平成19年度第2回理事会議事録
- ② 平成19年度第2回各委員会議事録
- 「総務委員会」「車両メディア委員会」「駅ポスター・SP委員会」「サインボード・安全委員会」
- が審議・報告され承認された。
- また、各メディア委員会は分科会を設置し、JR交通媒体販売促進に向けて一層活発な討議を進めていることが報告された。

登録23社等事故防止会議 「路線近接作業の安全を守るために」

線路近接作業等を行う23社を対象に、安全作業のための「登録23社等事故防止会議」が東京・池袋の(株)東京メディア・サービス本社会議室で1月30日(水)14時から行われる。

この会議は年4回開催され、安全作業に対する意識の向上を目指して行われている。

列車防護の知識を学ぶ「実車訓練」 2008年2月6日実施へ

広告意匠交換を行う作業員の安全確保を行う広告作業関係者を対象に行われる実車訓練が2008年2月6日(水)東大宮訓練センターで行われる。現地では実際に電車を走らせ安全に対する必要な知識が体感できる。

※詳細は東京メディア・サービス設備管理部安全指導課(電話03・5391・1246)へ

会員名簿変更

- ・代表者変更(9月26日付)
- (株)川崎ステーションビル
- 代表取締役社長 前田 厚雄氏
- 所在地変更(12月25日付)
- (株)クオラス
- 〒141-6007
- 東京都品川区大崎2-1-1

Think Park Tower 7F
電話 03・5487・5001(大代表)
FAX 03・5487・5774